

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

砂遊び

<テーマの設定理由>

砂の性質を知り、想像を膨らませ、表現する事を楽しむ。

2. 活動スケジュール

第一回…大きな山、川をつくろう

第二回…何を作るか話し合う⇒お城、周りの川

第三回…他クラスと合同で3チームごとの山

第四回…話し合い⇒長い川の町

第五回…他クラスと合同⇒ももたろうの世界

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり

(準備)・たらいに溜めた水、バケツ、スコップ(大・小)、トンネル台、水を流せるレール、日除けテント

- ・穴に水を溜めた際に「水が減っていく!」と気づき、どうしたら水が溜まるか考える。
- ・お城を作った際、バケツに砂を溜めたが固まらないことに気づき、どのくらいの水を入れたら固まるか、試行錯誤していた。
- ・流れていく水を見て、「ダムも必要だね!」と言い、仲間を集めて作り始めていた。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・作りながら、色々な考えが浮かび、友だちと話し合い、共有していく中で、新しい関係が増えていた。
- ・遊びながら砂の性質を学び、工夫する姿が見られた。
- ・友達と協力して作る事の達成感を感じられた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

造形あそび

<テーマの設定理由>

つくること、描くことの楽しさを味わう

2. 活動スケジュール

- ・年間18回の講師の指導がある。
- ・絵具、クレヨン、ハサミ、紙粘土、のり他様々な素材に触れる楽しさを味わう。
- ・自分の中のイメージを膨らませて、表現できる楽しさを味わう。
- ・他の友達の作品を観賞することで、認め合う。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり

<事例> 空間遊び

(準備)画用紙、テープ、折り紙、はさみ、のり、クレヨン、カラーペン、養生シート

(環境設定)養生シートを教室にはりテントのようにする。そこに思い思いの装飾をし何もなかった空間が変化していく。

今回のテーマは海。海にはどんないきものがいるかな？わたし、くらげつくる～ わたしはおさかな とお話ししながら、愛着のある作品を通してコミュニケーションをとる。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・偶然的に出来るおもしろさ、見立ててイメージを持つ楽しさなどの五感を使って遊ぶ経験が多くできた。
- ・友達の作品を観賞することで、会話の場面が増えた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

＜テーマ＞

体操教室

＜テーマの設定理由＞

満足感や達成感を味わう。自信や持久力を身につける。

2. 活動スケジュール

- ・年間36回講師の指導がある
- ・基本運動 走る 飛ぶ 等多くの動きづくりを行う
- ・マット運動 横転 前転
- ・平均台 横歩き 前歩き
- ・とび箱 ・鉄棒 ・ボール ・縄跳び

3. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり

〈縄跳び〉

- ・すぐに使用できるよう、縄の保管場所を身近なロッカーにした。
- ・一人ひとりのなわとびカードを作成し、スタンプで達成項目を分かりやすくした。
- ・子ども達で跳び方を教えあったり、回数を数えあい褒めたり応援したりする姿があった。
- ・教諭は目指しやすい目標設定を講師の先生と相談の上提案したり、興味や意欲の出る言葉がけをしていく。



4. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

- ・手と足を両立させる動作は、子どもにとって難しく、分けて伝えていく必要があると分かった。
- ・友達と見せ合ったり、なわとびカードにチャレンジして競ったりすることで気持ちも高まり、友達関係も深まり、苦手な事にも挑戦しようとする前向きな姿が多く見られた。